

# 令和5年度事業報告

## 1 事業概要

昨年5月、3年間にわたり、社会生活に影響を及ぼしてきた新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが5類に移行し、令和5年度は、さまざまな活動において活発化の兆しを見せた一方で、前年度から続くエネルギー価格の高騰や食料品をはじめとする物価の上昇に加え、昨年10月から始まったインボイス制度（適格請求書等保存方式）への対応は、当センターの事業運営に少なからぬ影響を及ぼすこととなりました。

会員拡大については、シルバーポイント制度の継続的な運用をはじめ、産業関連団体が開催したイベント等における入会勧誘、さらには高齢者活躍人材確保育成事業を通じた入会促進を図り、185人が入会しましたが、自己就業の増加や会員の高齢化などにより、退会者は184人となりました。

その結果、会員数は前年度より1人増となる1,260人となりましたが、令和5年度の事業計画目標を達成することはできませんでした。

受託事業については、経済活動の活発化のほか、労働者不足による受注増が見込まれたものの、請負・委任と派遣事業を合わせた就業延人員は136,260人日で、事業計画目標を達成することはできませんでした。しかし、静岡県での最低賃金への対応や事務費引上げの結果、契約金額は前年度より28,476千円増となる、638,278千円となり事業計画目標を達成しました。

安全・適正就業については、就業現場の巡回パトロールの強化や就業開始時における注意喚起のほか、草刈り作業時の飛び石事故防止のためハサミ切り式草払機使用を進めた一方で、さまざまな場面で就業中の事故等が発生した結果、団体傷害保険適用事故は4件の増、賠償責任保険適用事故は前年度と同じ件数となりました。

デジタル化の推進については、「Smile to Smile」の普及を進めたところ、全会員の38%を超える491人の登録をいただき、シルバー事業の円滑化を加速することができました。

以上が事業の概要であり、令和5年度の事業活動の内容は以下のとおりです。

## 2 事業活動の内容

### (1) 会員の入退会状況

ア 会員数（令和5年度目標 会員数1,300人）

区分	令和5年度	令和4年度	前年度比	入会者	退会者	増減
男性	900人	910人	98.9%	123人	133人	△10人
女性	360人	349人	103.1%	62人	51人	11人
合計	1,260人	1,259人	100.0%	185人	184人	1人

#### イ 入会理由

入会理由	人数	比率
生きがい、社会参加	86人	46.5%
仲間づくり	4人	2.2%
時間的余裕	23人	12.4%
健康維持	32人	17.3%
経済的	39人	21.1%
その他	1人	0.5%
合計	185人	100.0%

#### ウ 退会理由

退会理由	人数	比率
病気	48人	26.1%
シルバーを通じて就職	1人	0.5%
他で就職	25人	13.6%
死亡	16人	8.7%
転居	9人	4.9%
希望する仕事なし	5人	2.7%
就業機会なし	5人	2.7%
家庭の事情	16人	8.7%
会費未納	16人	8.7%
加齢	36人	19.6%
他団体へ加入	0人	0.0%
センター運営に不満	0人	0.0%
未回答	0人	0.0%
その他	7人	3.8%
合計	184人	100.0%

### (2) 請負・委任事業実績（独自事業含む）

区分	令和5年度	令和4年度	増減	前年度比
受注件数	5,315件	5,449件	△133件	97.6%
契約金額	561,862千円	539,126千円	22,736千円	104.2%
就業延人員	121,722人日	121,826人日	△104人日	99.9%
就業実人員	997人	989人	8人	100.8%
就業率	79.1%	78.6%	0.5ポイント	-

### (3) シルバー派遣事業実績

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
受 注 件 数	113 件	131 件	△18 件	86.3%
契 約 金 額	76,416 千円	70,676 千円	5,740 千円	108.1%
就 業 延 人 員	14,538 人日	13,842 人日	696 人日	105.0%
就 業 実 人 員	152 人	144 人	8 人	105.6%

### (4) 総合就業実人員（請負・委任+派遣）

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	前年度比
総合就業実人員	1,093 人	1,082 人	11 人	101.0%

※総合就業実人員＝請負・委任事業等及び派遣事業のいずれかで就業した会員の実人員数

### (5) 有料職業紹介事業実績

区 分	令和5年度	令和4年度
契 約 件 数	2 件	1 件
就 職 人 数	3 人	1 人
手 数 料	88 千円	8 千円

### (6) 組織活動

#### ア 総 会（ホワイトパレス）

開催回	開 催 日	議 題 等
第 74 回	令和5年6月20日(火) 午前10時～	<ul style="list-style-type: none"><li>令和4年度事業報告について</li><li>令和4年度決算について</li><li>令和5年度事業計画について</li><li>令和5年度収支予算について</li><li>役員（理事・監事）の選任について</li></ul>

イ 理事会（富士市高齢者就業センター）

開催回	開催日	議題等
第291回	令和5年5月18日(木) 午後1時30分～	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度事業報告について</li> <li>令和4年度決算について</li> <li>事務局長の選任について</li> <li>その他</li> </ul>
第292回	令和5年6月20日(火) 午前11時00分～	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事長・副理事長・常務理事の選任について</li> </ul>
第293回	令和5年7月20日(木) 午後2時45分～	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員就業規則の一部改定について</li> <li>臨時職員の採用について</li> <li>その他</li> </ul>
第294回	令和5年9月20日(水) 午後1時30分～	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度配分金見積基準額について</li> <li>富士市長等への要望活動について</li> <li>その他</li> </ul>
第295回	令和5年12月1日(金) 午後1時30分～	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員給与規程の一部改正について</li> <li>再雇用職員就業規程の一部改正について</li> <li>フリーランス新法への対応について</li> <li>その他</li> </ul>
第296回	令和6年1月26日(金) 午後1時30分～	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨時職員の給与等に関する取扱要領の一部改正について</li> <li>その他</li> </ul>
第297回	令和6年3月15日(金) 午後1時30分～	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度収支補正予算について</li> <li>令和6年度事業計画について</li> <li>令和6年度収支予算について</li> </ul>

ウ 部会・委員会等の活動状況

名称	回数	参加延人数
総務部会	6回	27人
事業部会	6回	34人
会報編集委員会	9回	33人
安全・適正就業委員会	6回	68人
女性委員会	8回	41人

## エ 地域支部等の活動状況

名 称	回数	参加延人数
富士南支部総会・役員会	4回	60人
富士駅北支部総会	1回	25人

## オ 職群班の活動状況

名 称	回数	参加延人数
みどり友の会	4回	50人
公民友の会	4回	97人
シルバーライフサポート部会	2回	30人
あおぞら会	1回	30人

## (7) 普及啓発活動

感染症拡大防止に留意しつつ、普及啓発活動に努めました。

ア 会報「シルバーふじ」の発行（3回）	4月・8月・1月
イ 「技能フェスティバル」で会員活動紹介と入会相談	8月19日
ウ 「商工フェア」で会員活動紹介と入会相談	11月4・5日
エ 市内まちづくりセンター3か所で入会相談会の実施	10月6・12・17日
オ 会員紹介キャンペーンの実施	10月期～3月期
カ 「ふじのくに快適シニアライフの集い」で入会相談	3月23日
キ 女性委員会による各種講習及びレクリエーション活動	年9回
ク 地方紙などへの報道提供	随 時
ケ シルバーポイント制度を活用した会員の声掛けによる勧誘活動	随 時
コ LINE 公式アカウントによる情報発信活動	随 時

## (8) 役職員の研修

富士市長を招き、役員がセンター事業や市政について研修及び意見交換を行いました。(7月20日)

## (9) 会員の研修・講習

研修等名称	回数	受講者数	内 容
入会説明会 新入会員研修会	24回	176人	入会希望者へセンターの説明ほか
特別入会説明会	3回	40人	高齢者活躍人材確保育成事業(市民向け技能講習)最終日におけるセンターの説明ほか
Web 入会説明	-	25人	ホームページ閲覧による入会希望者へセンターの説明ほか
キャリアアップ研修	2回	37人	シルバー派遣就労会員対象
スマホ講習	11回	54人	パソコン同好会会員による「Smile to Smile」閲覧とLINE公式アカウント登録指導
スマホ個別相談会	-	113人	パソコン同好会会員による「Smile to Smile」閲覧とLINE公式アカウント登録個別指導

## (10) 就業機会の拡大

ア 就業機会創出員等が発注先を訪問し就業開拓に努めました。

公共関係	民間事業所	一般家庭	計
10件	23件	7件	40件

イ 未就業会員に仕事情報を配付しました。

1月

ウ ホームページ及びセンター掲示板にて仕事情報を公開

(月2回更新)

エ 理事長ほか役員が富士市長及び富士市議会議長を訪問し、公共事業発注の確保及びセンター事業に対する支援について要望活動を行いました。

10月23日

オ 事務局長が、社会奉仕団体の会合において、センター事業の紹介と発注依頼活動を実施しました。

5月9日

## (11) 高齢者活躍人材確保育成事業（厚生労働省静岡労働局委託事業）への取組

(公社)静岡県シルバー人材センター連合会が主催する地域の高齢者を対象とした技能講習会を3コース開催し、15名がセンターに入会しました。

## (12) 利用者向けデジタル活用支援事業への取組

総務省の助成を受け、12名の会員が講師となってデジタル活用に不安のある高齢者等の解消に向けたスマートフォン講習会を延96時間実施しました。(総務省 デジタル活用支援推進事業補助金対象)

## (13) 安全・適正就業対策及び健康管理の推進

安全・適正就業を推進するため、第2次安全・適正就業対策基本計画に基づき次の事業を実施しました。なお、感染症拡大防止に留意しつつ、「健康づくり講座」を「交通安全教室」を各2回ずつ実施し、延66人が参加しました。

### ア 安全・適正就業パトロール指導員等による個別訪問件数

公共関連事業	民間事業所	一般家庭	計
62件	180件	33件	275件

- イ 定期健康診査等の受診を奨励し、受診率の向上を図りました。
- ウ 安全・適正就業委員会による重点パトロールを実施しました。(年3回)
- エ 安全啓発に関する「安全ニュース」を全会員に配付しました。(年3回)
- オ 安全就業ワッペン着用キャンペーンを展開しました。(7月)
- カ 安全標語の募集とヒヤリハット事例の収集を行いました。
- キ 安全就業チェックシートを活用し、安全意識の向上を図りました。
- ク 発注先で就業状況を確認するとともに「適正就業ガイドライン」を配付し、自主点検表などにより契約の適正化に向けた提案・調整を図りました。
- ケ 「安全・適正就業のしおり」を新入会員に配付しました。
- コ 回転刃草払機による飛び石事故防止のため、ハサミ切り式草払機の会員への貸出を実施しました。
- サ 草払機作業における事故撲滅のため、安全講習会を開催しました。
- シ 「緑十字無災害記録表」の設置により安全意識の向上を図りました。

## (14) 保険適用事故の件数

令和5年度にシルバー保険（団体傷害保険、賠償責任保険）の保険金を受けた事故の件数は以下のとおりです。

ア 団体傷害保険適用事故 ( ) 内は前年度の件数

区 分	男	女	計
就 業 中	2 件 (2 件)	2 件 (1 件)	4 件 (3 件)
就業途上	2 件 (1 件)	2 件 (0 件)	4 件 (1 件)
計	4 件 (3 件)	4 件 (1 件)	8 件 (4 件)

イ 賠償責任保険適用事故 ( ) 内は前年度の件数

区 分	男	女	計
就 業 中	5 件 (4 件)	0 件 (1 件)	5 件 (5 件)
就業途上	0 件 (0 件)	0 件 (0 件)	0 件 (0 件)
計	5 件 (4 件)	0 件 (1 件)	5 件 (5 件)

## (15) 入会相談

ア センターに来所した高齢者にシルバー人材センターの理念や仕組みを説明し、臨時的就業か短期的または軽易な業務への就業を希望する相談者延347人に入会説明会への参加を案内しました。

イ 10月期に地区まちづくりセンター3か所で、役職員が地区の高齢者を対象とした出張入会相談会を実施し、延14人が参加しました。

## (16) 調査研究活動

ア 理事会において事業実績等を検討し、事業運営の改善を図りました。

イ 全会員に会員状況の調査を実施し、就業中の会員には安全・適正就業に関する就業状況の確認などを行いました。

## (17) 独自事業

ア 富士市高齢者就業センターにおいて2つの文化教養講座を開講しました。

イ ラ・ホール富士において市民向けパソコン講座を開講しました。

## (18) 奉仕活動

感染症拡大防止に留意しつつ、奉仕活動を実施しました。

月日	場 所	参加支部・職群班等	内容	人数
7/24	富士まつり会場 (青葉通り・中央公園)	全会員	清掃	60人
10/10	富士川河川敷グラウンドほか	富士川支部・松野支部・グラウンド ゴルフ同好会	清掃	24人
10/21	米の宮公園	富士駅北支部	清掃	35人
3/2	田子浦幼稚園	みどり友の会	剪定	45人

## (19) デジタル化への取組

ア 会員向け Web サービス「Smile to Smile」及びLINE 公式アカウントの普及と活用を積極的に推進し、公平な就業機会の提供と就業マッチングのスピードアップに努めました。

イ 環境保護と経費節減のため、賛同をいただいた一部の会員の配分金支払明細を、郵送から Web 閲覧に切り替えました。